



■問い合わせ 上下水道課水道係 ☎ 893-1920 / 吾北総合支所建設課水道係 ☎ 867-2315  
 本川総合支所産業建設課水道係 ☎ 869-2115

## 5月検針分から、水道料金が改定となります

※下水道料金は変更ありません

本町では、皆様の生活に欠かすことのできないライフラインである水道を守り、安心安全な水道水をこれからも安定してお届けし続け、安定的に経営を行うため、水道料金の改定をお願いすることといたしました。

ご利用者の皆様には大変ご負担をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

連載2回目の今日は、「水道施設の老朽化と更新、耐震化の今後の見通し」についてお知らせいたします。

### 水道施設の老朽化

水道管は、使用を開始して40年を経過すると、一般的に老朽管と区分され、水道管の破損などにより、漏水事故が発生しやすくなります。

この町では平成28年度末で、既に全体の約16%（全国平均15%）が老朽管となっていて、今後老朽管の割合はさらに増加していきます。

また、電気・機械設備、ポンプ設備などの水道施設も同様に老朽化が進んでおり、これまでも老朽化した水道施設の更新を行ってきましたが、今後老朽化した施設の割合が高まっていく中では、より中長期的な見通しの下で更新を進めていく必要があります。

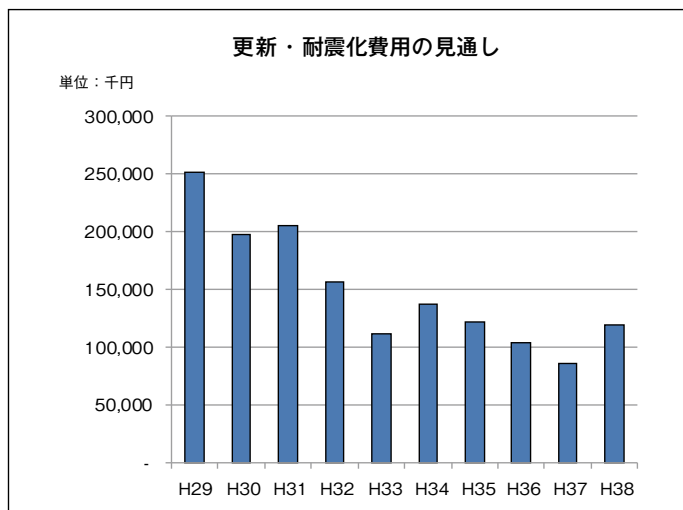


【破損した水道管】

### 水道施設の更新、耐震化の見通し

更新費用を抑えるために、法定耐用年数にとらわれることなく、適切な維持管理による長寿命化を図りながら、できる限り長く水道施設を使用することとして、緊急度や優先度を検討し、今後の更新費用を試算しました。

今後も引き続き老朽化施設の更新や南海トラフ地震に備えた耐震化を計画的に行い、管路の耐震適合率を、基幹管路（口径150mm以上）については平成35年度（2023年度）までに10%向上させ43%とし、基幹管路以外の配水支管については平成40年度（2028年度）までに6%向上させ88%とする計画で、更新、耐震化を進めていきます。また事業費は総額で約16億円の費用が必要となる見通しとなっています。



【完成した北山配水池（容量900ト）】

ステンレス製で耐震性に優れ、地震時に一定の揺れを感知すると自動的に配水を遮断し、飲料水を貯留することができます。